

令和 6 年度の地域（自立支援）協議会の 活動状況等について

調査票: 令和6年度(2024年度)熊本市障がい者自立支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
3 回	・市障がい者相談支援センターモニタリング結果 ・市障がい者生活プラン及び市障がい福祉計画・市障がい児福祉計画の策定について ・部会からの報告 ・障がい者相談支援センターからの報告 ・障がいへの理解促進についての意見交換			就労部会 12回	テーマ毎に4班体制で活動 ・例年開催している就労フェアの開催 ・事例検討 ・情報共有 ・事業所のDX化についての検討 ・地域課題の抽出 ほか
				相談支援部会 12回	企画運営を3班体制に分け、相談支援事業所に対して実施 ・相談支援員のスキルアップ ・地域課題の抽出 ・社会資源の情報共有 ほか
				こども部会 12回	地域課題に応じた4班体制で活動 ・各種研修 ・教育関係機関との意見交換 ・アンケート(調査、分析等) ・移行支援シートの作成
				精神障がい者地域移行支援部会 4回	(全体部会) ・地域移行支援に関する研修 ・意見交換 (区部会) ・地域移行支援マニュアルの作成
協議会の効果・成果		・4つの部会に分かれて、定期開催することにより、効果的な社会資源の開発・点検、課題の抽出、検討につながっている。 ・本会議委員以外の関係者も参加しており、情報共有やネットワーク構築の場となっている。			

運営上の課題 地域の課題	・全体会の意見交換においては、地域課題等が多く挙げられるものの、それらへの解決及び改善提案まで至らないことが多い為、今後は意見交換のテーマについて検討する機会へシフトしていきたい。 ・各部会においては、それぞれ活発な活動がされているが、部会同士の連携が薄いという指摘もあるため、今後部会同士の連携していけるよう体制を検討していく。
-------------------------	---

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	☒ 有 ・ 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名) クライスハイム八幡 (評価実施日) 令和7年1月22日 グループホーム エイムズ城南 (評価実施日) 令和7年1月14日 グループホーム AQUA (評価実施日) 令和7年1月28日 ソーシャルインクルーホーム熊本植木町 (評価実施日) 令和7年1月16日
----------------------------	--	--	--

調査票:令和6年度(2024年度) 有明圏域障がい者と共に生きる支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
2回 開催済1回 開催予定1回	【第1回】 ・令和5年度事業実施状況報告 ・令和6年度事業計画(案) ・地域生活支援拠点等整備事業 ・ハートフルコンサート、きらきらセミナー後援 ・日中サービス支援型 GH 評価方法について	【定例会】 11回 (全て開催済)	- 研修(報酬改定 災害時福祉避難所 立上げ 面接技法 グループスーパービジョン) - 事例検討(ケアマネ合同 野中式) - グループワーク(インフォーマルサービス 意思決定支援) - 全体研修「アンガーマネジメント」	【子ども部会】 6回 開催済5回 開催予定1回	- 研修(個別支援計画の作り方 保護者支援 学校との連携) - 事業所の取組紹介、熊本県こども総合療育センターの支援について、集団指導の共有 - グループワーク(療育と相談支援の連携、職員育成、次年度の計画)
	【第2回】 ・地域生活支援拠点等の登録について ・日中サービス支援型 GH 実施状況等報告	【運営会議】 12回 開催済11回 開催予定1回	- 定例会議について ・当月定例会議の内容協議 ・翌月定例会議の概要協議	【就労部会】 開催済7回 情報交換会6回 研修会1回	- 就労移行・就労定着情報交換会(一般就労に関わる各機関の支援状況報告 研修会企画会議 研修会振返りに同じ) - 全体研修会(「企業と福祉の連携ビジネスマッチングフェア 2024」シンポジウム、グループワーク)
		【事務局会議】 2回 (全て開催済)	全体会議の運営について		
協議会の効果・成果		【定例会議】 年度初めには、報酬改定について勉強会を行い、疑問点等の解消や共通認識を持つことができた。また近年は災害が多いことから、災害時の福祉避難所立上げシミュレーション研修を開催するなどタイムリーな内容について学ぶことができています。その他、事例検討を通じてファシリテーション技術の向上や情報交換、ケアマネジャーとの合同研修による他職種との連携強化など、圏域の相談支援体制の充実が図られた。			
運営上の課題 地域の課題		- 全体会議において、事務局側の報告の割合が多く、地域の課題について活発に議論していただく内容の工夫が必要である。 - 地域生活支援コーディネーターの設置、基幹相談支援センターの運用開始に当たり実績確認方法等の検討。 - 子ども部会・・・全く参加しない事業所への対応(案内方法や促し方) - 就労部会・・・地域課題として、福祉的就労として特に A 型事業所の報酬改定・最低賃金上昇により閉所するところや、作業内容の工夫等で工賃アップなど継続努力をするも、利用者やスタッフが対応できず退職する事業所があった。一般就労では障害者の抱える多様な課題(障害特性、家庭環境や交通手段など)と、会社が抱える課題(障害者雇用率の上昇により初めて障害者雇用する、中小企業が多い圏域で経営課題があるなど)がありマッチング要素が複雑化している。これらの課題に対し、部会のみならず協議会全体で課題抽出や取り組みが必要だが検討までに至っていない。			

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	☒ 有 ・ 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名) ソーシャルインクルーホーム熊本荒尾 ソーシャルインクルーホーム玉名山田 (評価実施日) 令和7年1月30日 令和7年1月31日
--------------------	---	------------------------------------	---

調査票:令和6年度(2024年度)山鹿市障害者支援地域協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
2回	1回目(R6.7.4) ・令和5年度の事業実績報告 ・第4期障害者計画・第7期障害者福祉計画・第3期障害児福祉計画の重点となる取り組み。 ・地域生活支援拠点コーディネーターの配置と役割について 2回目(R7.2.21) ・第4期障害者計画に基づく各課の取り組み進捗状況の報告 ・専門部会の活動報告 ・地域生活支援拠点コーディネーターの取り組み報告 ・日中サービス支援型グループホーム新設に伴う評価について(予定)	定例会6回	各専門部会の活動報告、検討事項 地域福祉セミナーの内容検討 障害者支援地域協議会の内容検討	・就労支援部会(計16回)	・先進地(岡山県総社市)視察の打合せ ・合同就職説明会の打合せ及び実施 ・障害児就労見学バスツアー(2回)の打合せ及び実施 など
				・地域生活支援部会	・農福連携に関する(県より説明) ・啓発活動の実施(出前講座8回中学校、旅館従業員、ボランティアなど) ・地域福祉セミナー(地域共生社会後援会) など
		臨時1回	地域福祉セミナーの内容検討	・相談支援部会(12回)	・計画相談に関するアンケート報告 ・支援者支援のプログラム ・事例検討 ・地域生活支援拠点について など
				・子ども部会(15回)	・地域診断(Q-SACCS)の演習 ・療育事業所一覧の作成 ・障害児の性教育についての研修 など
協議会の効果・成果		・第4期障害者計画の策定にあたり関係課から進捗状況や計画を提出してもらってはいたが、全体会には出席依頼をしていなかった。今年度2回目は関係課から出席してもらったことで、市全体としての取り組みであることの再確認や意識づけができ、また顔の見える関係ができてきたと思う。 ・地域生活支援拠点コーディネーターの役割や活動状況を知っていただく機会になった。			
運営上の課題 地域の課題		・関係各課への依頼や情報のとりまとめに時間を要してしまう。 ・わかりやすい資料の作成が必要。 ・地域生活支援拠点コーディネーターの役割は大きく、負担も大きいと思われるため協力機関との情報共有を行い、協力体制を整える必要がある。 ・今回、全体会の出席について急遽関係課に依頼したため、出席できない部署があった。とくに防災については重要な内容であるため、早めに調整する必要がある。			

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	有 ・ ☒ 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名) (評価実施日) 令和 年 月 日
----------------------------	---	--	--

調査票:令和6年度(2024年度)菊池圏域地域自立支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
2回	【第1回】 ・R6年度の協議会委員について ・R5年度決算・R6年度予算について ・各部会の活動内容について 【第2回】(予定) ・各専門部会の活動内容について ・地域生活支援拠点等の整備及び基幹相談支援センターの整備状況について ・日中サービス支援型共同生活援助事業所実施状況の評価について ・令和6年度予算執行状況・令和7年度予算について	担当者会議 3回	【第1回】 ・R5・R6年度の協議会委員について ・R5年度の予算について ・運営会議の開催について ・第1回自立支援協議会の開催について ・その他 ・地域活動支援センター委託料及び日中一時支援事業の単価 ・日中一時支援事業申請時の聞き取り方法 【第2回】 ・日中一時支援の報酬単価について ・移動支援について ・訪問入浴の報酬単価について 【第3回】 ・サービスの報酬単価改正に伴うスケジュールについて(日中一時支援、移動支援、訪問入浴) ・地域活動支援センター事業委託費について ・重度訪問介護利用者の大学修学支援事業の実施について(市町村地域生活支援促進事業) ・訪問入浴サービス事業の継続利用申請について ・日中サービス支援型共同生活援助事業所実施状況の評価	相談支援部会 3回 サービス部会 3回 生活支援部会 3回	・相談支援事業に係る地域課題の抽出(グループワーク) ・各部会の活動・進捗状況報告 ・相談支援における成功例(グループワーク) ・日ごろの障がい児・障がい者支援に困っていること、課題として考えていること、聞きたいこと(グループワーク) ・今後の相談支援部会において検討したいこと(グループワーク) ・通学支援について、重度障害者日常生活用具給付事業在宅人工呼吸器使用者非常用電源について ・部会の活動、圏域の課題について意見交換 ・関係機関連携や支援体制に関する協議・意見交換(施設入所支援、生活介護、短期入所) ・関係機関連携や支援体制に関する協議・意見交換(居宅介護事業所) ・移動支援に関する新しいサービス作りの検討 ・支援学校等保護者菊池圏域家族会向けの研修会の実施 ・「障がい者家族に向ける親亡き後」について ・質疑応答・意見交換等 ・意見交換 ・障がい福祉サービス一覧(冊子)作成

		運営会議 2回	【第1回】 ・R6年度の協議会委員について ・R5年度決算・R6年度予算について ・各部会の活動内容について ・第1回自立支援協議会の開催について 【第2回】 ・日中サービス支援型共同生活援助事業 所実施状況の評価について	子ども部会 4回	・前年度振り返り(課題の整理)、今年度実 施内容確認 ・幼稚園・保育園との連携について ・相談員との連携について ・将来の見通しを持った支援について ・菊池圏域障がい児通所支援サービスに ついて(冊子)作成
協議会の効果・成果	部会の活動も活発化し、課題の抽出や課題に関する協議、研修、情報共有など、支援体制の強化を図ることができた。 障がい児、障がい者ともに事業所一覧の冊子を作成し、情報発信をすることができている。 担当者会議では、圏域市町で地域の課題の共有や移動支援及び日中一時支援の単価改正など圏域の市町で連携して検討することができた。				
運営上の課題 地域の課題	福祉人材の不足、特にヘルパー不足が深刻であり、利用ニーズに対して供給が追い付いていない。各事業所から部会等の協議に参加すること も難しく、効果的な人材の確保策の検討が必要。				

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	☒ 有 ・ 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名) スターホーム KOSHI (評価実施日) 令和7年3月25日(予定)
--------------------	---	------------------------------------	---

調査票: 令和6年度(2024年度)阿蘇圏域自立支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
1 回	・自立支援協議会での協議内容・取組報告 ・阿蘇圏域地域生活支援拠点等事業実施要綱の承認について	運営委員会 1 回	・全体会に提議する事項について	相談支援部会 1 回	・相談支援事業所連絡協議会に参加し、事業所と意見交換(基幹相談支援センターの設置や相談支援部会の今後の活動について等)
		担当者会議 3 回	・阿蘇圏域自立支援協議会設置要項について ・地域生活支援拠点等及び阿蘇圏域地域生活支援拠点整備事業対応マニュアルについて ・阿蘇圏域地域生活支援拠点等事業実施要綱(案)について ・障害者差別解消支援地域協議会の設置について	就労支援部会 2 回	・就労関係事業所の施設見学 ・阿蘇市で開催の阿蘇マルシェに希望した就労関係事業所が出店
		ブロック会議 3 回	・相談支援部会の今後の活動内容について ・地域生活支援拠点等について ・困難事例について	こども部会 2 回	・構成メンバーの選定について ・個別サポート加算 の創設に伴う阿蘇圏域での対応について ・阿蘇圏域の障害児通所給付費等支給決定に関する事務取扱い見直しについて
協議会の効果・成果		・集合形式で行うことで顔の見える関係づくりができ、情報や悩み事の共有がしやすくなった。 ・部会活動により、各関係機関の支援体制や課題等がより具体的に分かるようになった。			
運営上の課題 地域の課題		・今年度から阿蘇圏域基幹相談支援センター設置プロジェクトチームを設置し検討を行っているが課題が山積しており、今後も引き続き阿蘇圏域で可能な設置方法等について協議を行う必要がある ・いずれの機関においても人材が不足しており、人材の確保について手立てを検討する必要がある			

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	有 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名) 第二悠愛日中グループホーム事業所(社会福祉法人 小国町社会福祉協議会) (評価実施日) 令和 7年 1月 9日
--------------------	--	------------------------------------	--

調査票:令和6年度(2024年度)上益城圏域自立支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
1 回	研修「顔の見える連携で児童虐待防止を」 講師 児童家庭支援センターぽぴんず センター長 内田 良介 氏 ・令和5年度活動状況報告(虐待防止センター、療育支援事業、定例会及び障がい者差別解推進に係る取組、相談支援部会、就労支援部会、精神障がい者支援部会、子ども支援部会) ・地域生活支援拠点等の運営状況に関する検証と報告 ・基幹センター設置検討内容報告 ・設置要項改正	定例会 5 回	・各部会活動報告 ・基幹センター設置協議内容報告 ・障がい者虐待防止研修 ・障害者差別解消法に関する活動報告(広報啓発)	相談支援部会 12 回	・事例検討 ・定例会の報告 ・情報共有 ・基幹センター設置意見聴取
		【事務局 会議】 18 回	・基幹相談支援センター設置協議 ・定例会議題検討 ・地域生活支援拠点等の運用状況の検証及び検討、連絡会議の開始検討	精神障がい者支援部会 9 回	・企画委員会・打合せ会 ・当事者トーク ・住居支援研修 ・グループワーク
				就労支援部会 4 回	・グループワーク ・農福連携研修 ・運営指導内容共有
				子ども支援部会 3 回	・報酬改定に関する研修 ・研修会参加(全体会) ・保育所等訪問支援運用の確認
協議会の効果・成果		・定例会及び部会等を通じて各相談機関との情報共有と連携の強化及び情報共有が可能となった。 ・上益城圏域における相談支援事業、基幹センター設置協議等、変革の年となり、会員への情報共有を行うことが出来た。 ・定例会等における各関係者からの意見を聴取し検討することで、事業所間、行政と事業所の連携を深めることができた。 ・障がい者虐待防止に関するグループワーク研修を行い、意識の向上と知識を深める機会の提供及び他業種事業所との交流が出来た。 ・障害者差別解消法に関し、合理的配慮の義務化を各町広報誌に掲載する方法により、広く町民へ向けた周知を行うことができた。 ・地域生活支援拠点等連絡会議を開催し、まずは本事業の意義や会議の在り方について検討を始めることが出来た。			
		運営上の課題 地域の課題		・基幹相談支援センター設置のためのプロポーザルについて準備検討中であり、今後も協議会へ情報共有しながら整備を進めていく。 ・地域生活支援拠点等事業所連絡会議についてはあり方や課題等の整理に時間がかかると考える。今後届出事業所へのアンケート等を取りながら事業運営をより有意義なものにしていく必要がある。	

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	有・ ☐	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名)
			(評価実施日) 令和 年 月 日

調査票：令和6年度(2024年度)宇城圏域障がい者支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
2回	・令和5年度の実績、決算、令和6年度の計画、予算 ・委託事業の実績 ・地域生活支援拠点整備事業の実績 ・各専門部会における困難事例等について ・ガイドラインに沿った規約の改正 ・日中サービス支援型指定共同生活援助の実施状況報告	運営会議 2回	全体会の議題確認	相談支援部会 6回	実績報告、困難事例検討、地域生活支援拠点等整備事業報告等
				就労支援部会 4回	・事業報告及び事業報告、検索サイト開設・各種研修・障がい福祉サービス等利用説明会開催
		事務局会議 5回	協議会の運営体制について 規約の改正 権利擁護部会の組織体制の見直し 委員の選任	こども部会 3回	グループ討議、研修(特別支援教育について他)、地域課題の抽出と検討
				行政部会 3回	児童発達支援センター及び基幹相談支援センターについて他
協議会の効果・成果		・部会で検討された地域課題等を全体会で報告することで、課題の共有、対応の検討につながった。 ・各専門部会において、研修を実施し、事業者の質の向上に繋がった。 ・就労支援部会では、数年振りに住民を対象とした障がい福祉サービス利用説明会を実施。多くの方が参加された。 ・こども部会員(障害児通所支援事業所等)を対象に県教委の就学支援アドバイザーから特別支援教育についての研修の実施、職員の資質の向上につながった。 ・相談支援部会では、継続的にモニタリングを実施しており、相談支援専門員の資質向上が図られている。			
運営上の課題 地域の課題		【地域の課題】・8050問題、・親の高齢化と障害を持つ子のご家庭への支援、・障害福祉サービス体験利用時の交通手段について ・児童発達支援センターの支援について、・相談支援事業所への支援について 上記について、地域の課題として専門部会から挙げられ、全体会で協議を行った。 【運営上の課題】 ・協議会開催にあたる事務、各専門部会の事業ボリュームも増加しており、負担が大きい			

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	有 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名) RASIEL宇城、ソーシャルインクルーホーム宇城松橋町 (評価実施日) 令和7年3月7日
--------------------	--	------------------------------------	---

調査票: 令和6年度(2024年度)八代圏域障がい者支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
3回	【第1回】 ・R5 年度委託相談支援事業実績報告 ・R6 年度委託相談支援事業事業計画 ・各専門部会における R5 年度活動実績及び R6 年度活動計画 ・日中支援型グループホームの報告・評価 ・テーマ協議「移動」について ----- 【第2回】 ・テーマ協議「移動」について ----- 【第3回】 ・地域生活支援拠点等の評価、検証 ・日中支援型グループホームの報告・評価 ・障がい者差別解消に関する協議 ・テーマ協議「移動」について ・今後の協議会について	【運営会議】 6回	・全体会に向けた協議 ・各専門部会の定期報告 ・地域生活支援拠点等の評価	【相談支援部会】 8回	・R6 報酬改定の概要説明 ・野中式事例検討 ・相談援助職へのハラスメント対策について ・災害時の具体的な動きについてシミュレーション ・共同体制加算について ・実地指導のフィードバック
	【就労支援部会】 5回			・就労支援セミナーの開催 ・就労支援マップの作成 ・就労支援事業所と障害者就業・生活支援センターの連携について ・農福連携について ・次年度の部会活動について	
	【地域移行支援部会】 3回			・地域移行支援リーフレットの作成 ・障害者支援施設の部会参加について ・障害者支援施設への働きかけについて ・次年度の部会活動について	
	【こども部会】 5回			・『(あるある便利帳！)それぞれのステージに応じた保護者からの小さな疑問にお応えします!!』作成 ・「うちの子、ちょっと気になるなあ」の相談先一覧作成 ・「八代市の障がい児をとりまく現状と課題」見直し ・次年度の部会活動について	
	【医療的ケア児支援の検討部会】 4回			・災害時避難訓練に参加 ・医療的ケア児の名簿を作成して関係部署と共有	

協議会の効果・成果	・令和6年4月基幹相談支援センターを設置し、相談支援体制を整備している。 ・地域課題として、障がいのある方の「移動」を取り上げ、解決策等の意見交換を行った。今後は、移動支援に関するプロジェクトチームの編成を検討することとし、継続して協議していくこととなった。
運営上の課題 地域の課題	・地域生活支援拠点等について、令和3年に整備したものの実際の運用について検討できていない。 ・相談支援専門員が不足しており、人材確保が課題となっている。 ・山間部や市街地から離れている場所に住んでいる障がい者等の移動手段が限られている。家族が送迎しているというケースも多く、家族の生活や就労にも影響が生じるなど、負担が大きくなっている。また、家族の高齢化等により送迎の支援ができない家庭も増加している。

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	☒ 有 ・ 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名) スターホームYATSUSHIRO、 ソーシャルインクルーホーム八代日置町 (評価実施日) 令和6年11月18日 令和7年2月18日
--------------------	---	------------------------------------	---

調査票:令和6年度(2024年度)水俣・芦北圏域障がい者総合支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
1回	・委託相談事業所の令和5年度活動実績報告及び令和6年度活動計画について ・協議会各部会の令和5年度活動実績報告及び令和6年度活動計画について ・基幹相談支援センターの設置について ・地域生活支援拠点の評価について	事務局会議 7回	・委託相談事業所の活動報告 ・各部会の活動報告 ・全体会の開催について ・基幹相談支援センター設置に向けた協議	相談支援部会 7回	・災害時の初動対応等について(GH) ・事例検討、協議 ・合同研修 (相談支援センターこころ 崎山氏 他) ほか
		(新) 部会長会議 2回	・上半期、下半期の取り組みについて ・4部会合同研修について ・各部会からの活動報告について ・令和7年度事業計画等について	地域移行支援部会 5回	・事例検討(2件)について ・事業所見学(GH) ・合同研修(相談支援センターこころ 崎山氏) ・ロードマップの検討 ほか
		(新) 4部会合同研修会 1回	・協議会の運営体制について ・災害発生時の初動対応及び連絡(報告)ツールについて	就労支援部会 3回	・各事業所における課題の情報共有 ・合同研修、防災研修(県出前講座) ・災害時の初動対応等について(GH)
				くらしサポート部会 1回	・各事業所における課題の情報共有 ・合同研修
				こどもサポート検討部会 1回	児発管メンバーを対象に 本協議会参画の説明会
協議会の効果・成果		・今年度は、協議会の活性化を図るため部会長会議を取り入れ、定期的な意見交換を行った結果、部会の開催数増や合同研修を行うことができた。 ・また、事務局から全部会に対し「災害等の対応について」の協議をお願いし、結果、相談支援部会においては、大規模災害時の初動体制図や報告ツールを作成し、4部会合同研修にて共有し、引き続き次年度の課題としてつなげることができた。 ・このような取り組みによって、やや形骸化した協議会の活性化につながったと考えられる。			
運営上の課題 地域の課題		・今後は、令和8年度中の圏域基幹相談支援センター設置にむけ、委託型相談支援事業所等と協議していく。			

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	有・ ☒ 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名) (評価実施日) 令和 年 月 日
--------------------	---------------------------------------	------------------------------------	----------------------------

調査票: 令和6年度(2024年度)芦北町自立支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
1回目 (10/29)	・障害理解促進事業について			生活支援部会 相談関係 2回	・令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について ・法改正に伴う留意事項について
2回目 (2/26)	・障害理解促進事業について ・地域生活支援拠点等整備事業について ・福祉避難所の取り組みについて			障害理解関係 2回	・ふれ愛体験教室～いきなり団子づくり～について
協議会の効果・成果		○町民の方々の障がい理解の促進には継続的な取り組みが必要な中、今年度も町と自立支援協議会との共同主催によるイベントにも着手ができ、「ふれ愛体験教室～いきなり団子づくり～」や「障害者週間期間中の啓発展示」などをとおして、障害理解を深める機運を醸成することができた。 ○また、地域生活支援拠点等は、「緊急時の対応」「体験の機会・場の確保」の体制を整えていることから、運用面の確認や、関係機関との情報共有を行った。更に、今年度は、水俣芦北圏域障がい者総合支援協議会の事務局となったため、圏域単位で協議を行い、幅広い意見を聴取することができた。			
運営上の課題 地域の課題		○地域生活支援拠点等整備は、残る3つの機能として「相談支援の機能」「地域の体制づくり」「専門的な人材の確保」の体制づくりを行う上で、基幹相談支援センターの設置が1つの方策として考えられる。 ○相談支援体制は、障害保健福祉圏域で実施しており、現在、水俣芦北圏域障がい者総合支援協議会の中で、基幹相談支援センターの設置に向け、協議を進めている状況である。 ○今後は、相談支援体制をはじめとした障害者施策の推進について、圏域と町の協議会の所掌事務を明確にし、取り組んでいく必要があると考えられる。			

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	有・ ☒ 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名)
			(評価実施日) 令和 年 月 日

調査票:令和6年度(2024年度)人吉球磨障がい者総合支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
2回	【第1回】 ・新規会員の承認 ・地域活動支援センターI型活動報告 ・相談支援事業及び療育センター事業活動報告 ・連絡会・協議部会・検討部会に関する報告 ○相談支援事業所連絡会 ○就労移行支援事業所連絡会 ○障害者差別解消支援協議部会 ○地域生活支援拠点等運用協議部会 ○基幹相談支援センター設置検討部会 【第2回】 ・新規会員の承認 ・連絡会・協議部会・検討部会に関する報告 ○相談支援事業所連絡会 ○就労移行支援事業所連絡会 ○障害者差別解消支援協議部会 ○地域生活支援拠点等運用協議部会 ○基幹相談支援センター設置検討部会 ○医療的ケア児等支援検討部会 ○療育センター新事業移行検討部会 ・障害者差別解消に係る講演会	【定例会】 10回	課題の抽出、検討部会及び連絡会の活動報告、課題の検討結果等を運営会議に報告する。 ・相談支援事業所連絡会、就労移行支援事業連絡会、障害者差別解消支援協議部会、基幹相談支援センター設置検討部会、地域生活支援拠点等運用協議部会、医療的ケア児等支援検討部会、療育センター新事業移行検討部会の状況報告について ・その他、地域課題の協議・検討、お知らせ 等	【相談支援事業所連絡会】 12回	・県協議会や県南協議会の研修会の振返り ・地域生活支援拠点の相談事業所としての役割や取組確認 ・圏域内の新任の相談支援専門員への研修 ・事例検討(グループスーパービジョン) ・障がい児通所支援事業所との意見交換会 ・児童家庭支援センターとの意見交換 等
		【運営会議】 6回	定例会の運営に関する調整及び報告のとりまとめを行い、協議会への報告提言を行う。 ・全体会に関する協議事項について ・地域生活支援拠点の進捗・経過報告と課題について ・人吉球磨ふくしまマップの更新について ・その他、地域課題の協議・検討、お知らせ 等	【就労移行支援事業所連絡会】 12回	・市町村福祉担当者及びハローワーク球磨との意見交換会、振返り ・事例検討 ・他圏域の就労移行支援事業所見学、振返り ・支援学校見学 ・一般高等学校進路担当者との意見交換 ・発達障害者支援センターによる研修 等
				【障害者差別解消支援協議部会】 2回	・研修(県職員出前講座活用) ・事例検討・報告 ・改正障害者差別解消法の周知について 等
				【地域生活支援拠点等運用協議部会】 2回	・地域生活支援拠点等の運用状況について ・地域生活支援拠点等の機能・運営状況の評価(指標)とこれからの取組について ・個別説明等の
				【基幹相談支援センター設置検討部会】 2回	・設置に向けたスケジュール協議 ・課題(委託方法・人材確保)等の整理と協議 ＊別途、行政協議5回開催
				【医療的ケア児等支援検討部会】	・課題、役割分担や体系(体制)整備についての協議 ・行政協議結果報告 ＊別途、行政協議2回開催

				1 回 【療育センター新事業移行検討部会】 2 回	・行政担当者と法人担当者との協議（現状説明・意見聴取） ・行政協議結果報告 ・移行内容最終確認 * 別途、行政協議 2 回開催
運営上の課題 地域の課題	【運営上の課題】 人吉球磨圏域は、10市町村（1市4町5村）により構成され、人吉球磨障がい者総合支援協議会の事務局は人吉市が担っている。行政においては、年度初め人事異動による担当者変更も少なくない。このような状況から、上記記載の地域生活支援拠点等に係る総括表の各項目リーダーについては、取組の停滞等を防ぐため2名ずつ配置することとした。 【地域の課題】 ・指定特定相談事業所及び相談支援専門員が不足している。基幹相談支援センター設置、圏域での拠点コーディネーターや医療的ケア児コーディネーターの配置を推進するにあたり、人材確保も課題となっている。				

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	有 ・ 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名) (評価実施日) 令和 年 月 日
--------------------	-------	------------------------------------	---

調査票:令和6年度(2024年度)天草地域自立支援協議会 活動状況

全体会		定例会・事務局会議等		部会	
回数	主な協議内容	回数	主な協議内容	回数	主な協議・活動内容
1回	- 令和5年度事業報告と令和6年度事業計画 - 令和7年度からの天草地域自立支援協議会の体制について	運営会議 5回	- 全体会・定例会の企画 - 障がい者週間の啓発について	精神障がい者支援部会 6回	- 医療機関との連携強化について(地域移行、退院支援等) - 市町精神保健相談支援体制について共有 - 住まいの確保について
		定例会 4回	- 市町(委託相談を含む)、班(障がい福祉サービス種別毎)、専門部会より活動報告と意見交換 - 地域課題の検討を行う場の確認		
		班活動	班の抱える課題解決に向けての取組(事業所間の連携強化のための情報共有、スキルアップのための研修等)	地域生活部会 3回	- 障がい福祉サービス事業所の送迎に関するニーズ調査 - ライドシェアに関する先進地からの情報収集 - 移動支援に関する先進地の取組に関する研修
		センター会議 (天草市のみ) 11回	- センターの活動報告 - 天草市の課題解決に向けた検討 - 個別事例の検討を通じた地域のサービス基盤の開発改善に向けた取組 - 地域生活支援拠点等の機能強化等		
協議会の効果・成果		- 班活動(障がい福祉サービス種別毎)により事業所の連携が強化された。 - 障がい福祉サービス事業所以外の他機関(保健や医療、雇用機関等)との連携強化に向けた取組が増加した。 - 地域課題解決に向けて協議会のメンバーの主体的に活動が増加した。			
運営上の課題 地域の課題		【運営上の課題】 - 全ての会議体を2市1町で運営してきたが、地域の課題は各々自治体で違うため、現体制では具体的な課題解決のための話し合いが進まなかった。そのため、令和7年度から会議体の体制を一部見直し、各市町単位での定例会や専門部会を運営することとした。 - 今後は障がい福祉サービス事業所以外の関係機関の主体的な参加を促していくための工夫が必要。 【地域課題】 地域移行の推進、移動手段の確保、強度行動障がいや医療的ケア児等の支援体制の整備、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築 障がい児支援体制の整備、福祉施設から一般就労への移行、権利擁護、相談支援体制の強化 など			

・日中サービス支援型グループホームの実施状況報告及び評価について

実施状況報告 (有・無を記載)	有・ ☒ 無	(有の場合) 事業所名及び評価を実施した日を入力してください。	(事業所名)
			(評価実施日) 令和 年 月 日

